



君の未来がここにある！

弘前大学医学部附属病院
卒後臨床研修プログラム

弘前大学医学部附属病院総合臨床研修センター

2026



CONTENTS

- Ⅰ 弘前大学医学部附属病院
卒後臨床研修プログラムへのご招待
- Ⅱ 卒後臨床研修制度の基本
- Ⅲ ここが特徴!! 弘大研修 -HIRODAI-
- Ⅳ 本学プログラムの特徴
- Ⅴ メンター候補指導医一覧
- Ⅶ Program A
- Ⅸ Program B
- Ⅺ Program C
- Ⅼ Program D
- Ⅾ Program E
- ⅰ 必修分野のアウトカムについて
- ⅱ 研修医オリエンテーション
- ⅲ 研修医セミナー
- ⅲ CPC（臨床病理検討会）
- ⅲ 地域医療研修
- ⅲ 研修医に贈る六大特典！
- ⅲ 研修医海外視察レポート
- ⅲ ～先輩研修医から後輩医学生へのメッセージ～
- ⅲ 研修環境について
- ⅲ 日々前進する研修医たちの姿



卒後臨床研修プログラムへのご招待



総合臨床研修センター長
・ 消化器血液免疫内科学講座教授

櫻庭 裕丈

弘前大学医学部附属病院では、卒後臨床研修が必修化された当初から、参加者体験型オリエンテーションを導入、さらに「研修医セミナー」の創設、新制度による研修医CPCの開始、研修医の医療行為に関する基準の制定、EPOCによる双方向性評価の導入、研修医宿舍の設置、「ベスト研修医賞」の創設、地域医療科目の充実、メンター制度の導入など、より充実した臨床研修を目指し整備を行ってきました。また、2020年度からの卒後研修制度の大幅な改正に対し、大学のプログラムも整備されました。

また2008年には新外来棟が完成したことに伴い、素晴らしい研修医室も整備され、また学内に保育園も設置され多くの先生方が利用しています。2010年度には念願の高度救命救急センターが完成して救急研修も一層充実しています。さらに、2015年には女性医師の定着や職場復帰を支援するための女性医師支援施設が完成しました。また、2023年度から新病棟「入院棟東」が稼働しました。

内科、小児科、皮膚科、精神科、外科を含む19のすべての基本領域のスペシャリストが集まる本学での研修は、未来の自分の姿が見えてくる研修になるでしょう。「君の未来がここにある！」これこそが本学における研修のかたちです。一緒に未来を探しましょう。

卒後臨床 研修制度 の基本

国の方針により、2020年度から卒後臨床研修制度が変更になり、現在の制度の基本骨格は以下のようになっています。

1 研修期間は **2年間**。

2 研修科目

- (1) 「必修科目」： **内科** 24週、**救急** 12週、**外科**、**小児科**、**産婦人科**、**精神科** および **地域医療** は各4週が必修です。なお、**一般外来** での研修4週も必修です。
- (2) 原則として、内科と救急は1年次に、地域医療は2年次に研修することとされています。

3 「臨床研修の到達目標」に注目してください。

皆さんは、研修医が2年間で習得、経験すべき「臨床研修の到達目標」が、2004年の卒後臨床研修化当初より厚生労働省により定められていることをご存知でしょうか？これは全国どこの病院で研修しても、研修医が必ず到達しなければならない基準を定めたもので、研修終了時に厳しく達成度を評価されるものです。

2020年度からはこの「臨床研修の到達目標」及びその評価方法が大きく変更になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ「臨床研修の到達目標、方略及び評価」をご参照ください。本学総合臨床研修センターのホームページからも見るができます。

弘前大学医学部附属病院 総合臨床研修センターホームページ

<https://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/edpostgr/index.html>



弘前大学の施設・設備紹介



遠隔操作型内視鏡下手術システム



ICU



ハイブリッド手術システム



SCU

ここが特徴!!

弘大研修 -HIRODAI-



Humanity

人情と情緒にあふれる街 弘前の地で人間性を高める



Improving

常に改善を求め進化するプログラムと指導医
2003年度からスーパーローテートを導入
2008年度からメンター制度を新設など先手を打って改善に取り組む



Relationship

地域の病院・診療所とともに次世代に求められる医師を育成
大学病院と市中病院での研修の長所を併せ持つ



Orientation

研修開始前の体験型オリエンテーション



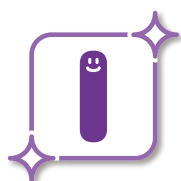
Deep and Wide

研修の深さと幅を両立
最先端医療と最前線医療の統合
基本的臨床能力と応用力の修得



Attractive Events

研修医のための各種セミナー、
ベスト研修医賞、研修医による CPC など



Introduction to subspecialty

充実した専門研修への円滑な移行

本学プログラムの特徴

メンター科から研修スタートが可能！

(プログラム A、B)

そもそもメンターとは…

**研修医が 2 年間の研修期間を通じて、
困ったときの相談役となる医師のことです。**

「メンター」という語は、もともとはギリシャ神話に登場する賢者「メントール」が語源です。オデュッセウス王の友人で助言者であり、王の息子テレマコスの師も務めたと言われています。

転じて現在では「メンター」は、良き助言者、指導者、顧問という意味として、一般企業等で広く使われています。

本院プログラムにおけるメンター及び メンター科研修の位置づけ

研修医が研修を開始するにあたり、本院の以下の科の指導医の中から、自分の最も信頼する医師をメンターとして指名することができます。そして医師生活のスタートを切る当初の 1 ヶ月間をメンターの所属する科で、メンターによる直接の指導を受けることができます。メンター科終了後は各科をローテーションして研修を行います。その間もメンターは研修医の希望に応じて、研修終了まで相談役を務めます。

なお、**メンターを指名することは義務ではありません**。もしメンターを指名しない場合には、研修医と総合臨床研修センターが相談して、研修を開始する科を決定します。

メンターを指名できる科の一覧（科名は略称による。5、6 ページ参照）

消・血・免内、循・腎、呼・感内、内分・糖内、神内、腫内、放治、放診、小、精、麻、救急、総診、検、病理、呼・心外、消・乳・甲外、小外、産婦、整、泌、脳外、形、皮、耳、眼、リハのいずれか。

メンター科における習得事項について

メンター科での研修期間中に研修医が習得すべき内容は、以下のような、医師としての基礎となるもので、その後の研修生活を円滑に行うための基盤を作ることに可能な限り力点を置くものとします。

- (1) 患者様とのコミュニケーションのとり方
 - (2) 医療面接の仕方
 - (3) 身体診察法
 - (4) カルテ記載法
 - (5) 処方箋、注射箋の書き方
 - (6) 病棟における指示の出し方
 - (7) 採血、点滴等の病棟における日常的措置
 - (8) 上記事項における安心と安全面への配慮 など
- (メンターが外科系指導医である場合には、これらに加えて、手術に関する初歩的日常業務を含む)

私たちと一緒に頑張りましょう！

以下に示す指導医以外にも、研修医が各科の指導医をメンターとして指名することは可能です。

各科の代表的メンター候補指導医の方々（2025年4月現在）

内 科 系					
診療科(部)名(略称)	氏 名	卒業年次	卒業大学	専門分野	
消化器内科・血液内科・免疫内科（消・血・免内）	立 田 哲 也	2007	弘 前 大 学	消 化 器 内 科	
	蓮 井 桂 介	2007	弘 前 大 学	消化器内科/免疫内科	
	鎌 田 耕 輔	2008	弘 前 大 学	血 液 内 科	
循環器内科・腎臓内科（循・腎内）	藤 田 雄 雄	2001	弘 前 大 学	腎 臓 内 科	
	石 田 祐 司	2007	弘 前 大 学	循 環 器 内 科	
	市 川 博 章	2011	弘 前 大 学	循 環 器 内 科	
呼吸器内科・感染症科（呼・感内）	當 麻 景 章	2000	産業医科大学	呼 吸 器 内 科	
	田 中 寿 志	2006	岩手医科大学	呼吸器内科(腫瘍)	
	牧 口 友 紀	2007	弘 前 大 学	呼 吸 器 内 科	
内分泌内科・糖尿病代謝内科（内分・糖内）	松 木 恒 太	2003	弘 前 大 学	内 分 泌 ・ 代 謝 内 科	
	村 澤 真 吾	2009	弘 前 大 学	内 分 泌 ・ 代 謝 内 科	
脳神経内科（神内）	村 上 千恵子	1994	弘 前 大 学	脳 神 経 内 科	
	西 蔦 春 生	2001	東 京 大 学	脳 神 経 内 科	
腫瘍内科（腫内）	佐 藤 温 温	1988	琉 球 大 学	腫 瘍 内 科	
	斎 藤 絢 介	2012	弘 前 大 学	腫 瘍 内 科	
	陳 豫 豫	2013	弘 前 大 学	腫 瘍 内 科	
神経科精神科（精）	富 田 哲 哲	2009	弘 前 大 学	精 神 医 学	
小児科（小）	嶋 田 淳 淳	2005	弘 前 大 学	小 児 循 環 器	
	伊 藤 竜 也	2012	弘 前 大 学	小 児 神 経	
放射線治療科（放治）	畑 山 佳 臣	2001	弘 前 大 学	放 射 線 治 療 科	
	廣 瀬 勝 己	2009	弘 前 大 学	放 射 線 治 療 科	
	佐 藤 まり子	2009	弘 前 大 学	放 射 線 治 療 科	
放射線診断科（放診）	対 馬 史 泰	2001	弘 前 大 学	放 射 線 診 断	
	掛 端 伸 也	2004	弘 前 大 学	放 射 線 診 断	
麻酔科・集中治療科（麻）	中 井 希紫子	2004	弘 前 大 学	麻 酔 科	
病理診断科（病理）	黒 瀬 顕 顕	1988	香川医科大学	病 理	
	明 本 由 衣	2012	弘 前 大 学	病 理	
救急科/高度救命救急センター（救急）	横 田 貴 志	2001	弘 前 大 学	救急医学・循環器内科学	
臨床検査/検査部（検）	齋 藤 紀 先	1997	秋 田 大 学	感染症内科/心療内科	
総合診療部（総診）	米 田 博 輝	2000	自治医科大学	家 庭 医 療	
	小 林 只 只	2008	島 根 大 学	総 合 医 療	

最初が^{肝心}です

最終的には研修医の希望、各メンター候補指導医および各科の意向を踏まえ合議によりメンターを決定します。

外科系

診療科(部)名(略称)	氏 名	卒業年次	卒業大学	専門分野
呼吸器外科・心臓血管外科 (呼・心外)	木 村 大 輔	1998	旭 川 医 大	呼 吸 器 外 科
	今 村 優 紀	2015	弘 前 大 学	心 臓 血 管 外 科
消化器外科・乳腺外科・ 甲状腺外科 (小・乳・甲外)	岡 野 健 介	2008	弘 前 大 学	乳 腺 外 科
	吉 田 枝 理	2009	弘 前 大 学	消 化 器 外 科
	若 狭 悠 介	2012	弘 前 大 学	消 化 器 外 科
整形外科 (整)	和 田 簡一郎	1997	弘 前 大 学	脊 椎・脊 髄 外 科
	佐々木 英 嗣	2008	弘 前 大 学	ス ポー ツ 整 形 外 科
	大 石 和 生	2010	弘 前 大 学	関 節 外 科
皮膚科 (皮)	六 戸 大 樹	2003	弘 前 大 学	皮 膚 科
	相 樂 千 尋	2006	弘 前 大 学	皮 膚 科
	古 川 和 仁	2016	弘 前 大 学	皮 膚 科
泌尿器科 (泌)	畠 山 真 吾	2000	秋 田 大 学	泌 尿 器 科 学
	山 本 勇 人	2003	弘 前 大 学	泌 尿 器 科 学
	岡 本 哲 平	2008	弘 前 大 学	泌 尿 器 科 学
眼 科 (眼)	前 田 奈津姫	2011	弘 前 大 学	眼 科
耳鼻咽喉科頭頸部外科 (耳)	工 藤 直 美	2010	弘 前 大 学	耳 鼻 咽 喉 科 頭 頸 部 外 科
	後 藤 真 一	2012	弘 前 大 学	耳 鼻 咽 喉 科 頭 頸 部 外 科
産科婦人科 (産婦)	横 田 恵	2005	弘 前 大 学	生 殖・内 分 泌
	伊 東 麻 美	2006	弘 前 大 学	周 産 期
	松 村 由紀子	2008	弘 前 大 学	婦 人 科 腫 瘍
脳神経外科 (脳外)	片 山 耕 輔	2009	弘 前 大 学	脳 腫 瘍
	角 田 聖 英	2011	弘 前 大 学	脳 血 管 障 害
	梶 友 紘	2013	聖マリアンナ医大	脳 血 管 内 治 療
形成外科 (形)	三 上 誠	2002	弘 前 大 学	形 成 外 科
	和 田 尚 子	2009	弘 前 大 学	形 成 外 科
小児外科 (小外)	小 林 完	2008	弘 前 大 学	小 児 外 科
	齋 藤 傑	2010	弘 前 大 学	小 児 外 科
リハビリテーション科 (リハ)	藤 田 彩 香	2002	弘 前 大 学	摂食・嚥下・呼吸器・脳 卒中リハビリテーション



2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：11名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1年次 本学附属病院

メンター 科 4週	内科1 8週	内科2 8週	内科3 8週	救 急 12週	精神科 4週	産婦人 科 4週	小児科 4週
-----------------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	----------------	-----------

2年次 本学附属病院

地域 医療 4週	外科 4週	選 択 科 44週
----------------	----------	--------------

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1年次、2年次各々の年度における各科の研修順序は、
入れ替えることが可能である。

コースの内容

メンター科

詳しくは 4 ページを参照。

内 科

◆消・血・免内、循・腎内、呼・感内、内分・糖内、神内、腫内のうち原則として 4 週ずつ合計 24 週以上選択（各診療科上限 8 週まで）。

◇消化器内科・血液内科・免疫内科（消・血・免内）

◇循環器内科・腎臓内科（循・腎内）

◇呼吸器内科・感染症内科（呼・感内）

◇内分泌内科・糖尿病代謝内科（内分・糖内）

◇脳神経内科（神内）

◇腫瘍内科（腫内）

救 急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

地域医療 一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。

一般外来研修は、原則として地域医療研修中に行う。

外 科

◆次のいずれかを選択する。

◇呼吸器外科・心臓血管外科（呼・心外）

◇消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科（消・乳・甲外）（小児外科（小外）を含む）

2 年次

院内のあらゆる科から最短 4 週間を単位として選ぶことができる。44 週間すべてを、同一科を選んでも良い。また **8 週間を限度として、健生病院、国立病院機構弘前総合医療センター、鷹揚郷腎研究所弘前病院、弘前記念病院、弘前脳卒中センター、北里大学病院（救急科）および上述の地域医療の研修協力施設で研修を行うことができる。**

1 年次 — 大学病院で研修

2 年次 — 学外の研修協力病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：5 名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1 年次 本学附属病院

メンター 科	内科1	内科2	内科3	救 急	精神科	産婦人 科	小児科
4週	8週	8週	8週	12週	4週	4週	4週

2 年次 研修協力病院

地域 医療	外科	選 択 科
4週	4週	44週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1 年次、2 年次各々の年度における各科の研修順序は、
入れ替えることが可能である。

研修協力病院一覧

青森県立中央病院

市立函館病院

八戸市立市民病院

青森市民病院

大館市立総合病院

国立病院機構弘前総合医療センター

健生病院

つがる総合病院

黒石病院

青森労災病院

十和田市立中央病院

三沢市立三沢病院

むつ総合病院

コースの内容

メンター科

詳しくは 4 ページを参照。

内 科

◆消・血・免内、循・腎内、呼・感内、内分・糖内、神内、腫内のうち原則として 4 週ずつ合計 24 週以上選択（各診療科上限 8 週まで）。

◇消化器内科・血液内科・免疫内科（消・血・免内）

◇循環器内科・腎臓内科（循・腎内）

◇呼吸器内科・感染症内科（呼・感内）

◇内分泌内科・糖尿病代謝内科（内分・糖内）

◇脳神経内科（神内）

◇腫瘍内科（腫内）

救 急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

精神科

産婦人科

小児科

外 科

順序を入れ替えることは可能である。2 年次研修協力病院に開設されていない科については、原則として 1 年次研修中に研修を終えるものとする。

地域医療

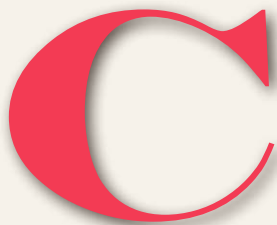
一般外来

研修協力病院の指定する研修協力施設の中から、本学のプログラムで指定する施設を選択して研修を行う。なお一般外来研修及び在宅医療の経験については必要に応じ、本学と研修協力病院が協議して決定する。

2 年次

「選択科」

2 年次「**選択科**」の決定にあたっては、各研修協力病院と各研修医の意向が合致することを原則とし、その調整は本学総合臨床研修センターが行う。



1 年次 — 学外の研修協力病院で研修 2 年次 — 大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：5 名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1 年次 研修協力病院

内科	救 急	精神科	外科	産婦人科	小児科
24週	12週	4週	4週	4週	4週

2 年次 本学附属病院

地域医療 4週	選 択 科 48週
------------	--------------

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1 年次、2 年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。

研修協力病院一覧

青森県立中央病院

八戸市立市民病院

市立函館病院

大館市立総合病院

三沢市立三沢病院

健生病院

青森労災病院

国立病院機構弘前総合医療センター

つがる総合病院

黒石病院

むつ総合病院

青森市民病院

コースの内容

1年次 「救急」

内科や外科等の院内のいずれかの科に所属しながら、救急患者の診療に従事することにより、救急医療を修得する。

精神科 外 科 産婦人科 小児科

当該研修協力病院に設置されていない科がある場合には、その期間選択科研修を行い、代わりに2年次選択科期間中に必修科研修を組み入れる。

地域医療 一般外来

本学の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合臨床研修センターが調整する。

一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次 「選択科」

院内のあらゆる科から最短4週間を単位として選ぶことができる。48週間すべてを、同一科を選んでも良い。また**8週間を限度として、健生病院、国立病院機構弘前総合医療センター、鷹揚郷腎研究所弘前病院、弘前記念病院、弘前脳卒中センター、北里大学病院（救急科）および上述の地域医療の研修協力施設で研修を行うことができる。**



産婦人科コース

将来産婦人科医になることを希望する者のためのコース
2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：2名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1 年次 本学附属病院

産婦人科	内科1	内科2	内科3	救 急	精神科	外科	小児科
4週	8週	8週	8週	12週	4週	4週	4週

2 年次 本学附属病院

地域医療	選択科	産婦人科
4週	4週	44週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1 年次、2 年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。ただし本コースの性質上、1 年次研修は産婦人科から開始するものとする。

コースの内容

内 科

- ◆消・血・免内、循・腎内、呼・感内、内分・糖内、神内、腫内のうち原則として4週ずつ合計24週以上選択（各診療科上限8週まで）。
- ◇消化器内科・血液内科・免疫内科（消・血・免内）
- ◇循環器内科・腎臓内科（循・腎内）
- ◇呼吸器内科・感染症内科（呼・感内）
- ◇内分泌内科・糖尿病代謝内科（内分・糖内）
- ◇脳神経内科（神内）
- ◇腫瘍内科（腫内）

救 急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

外 科

- ◆次のいずれかを選択する。
- ◇呼吸器外科・心臓血管外科（呼・心外）
- ◇消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科（消・乳・甲外）（小児外科（小外）を含む）

地域医療 一般外来

研修協力病院の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合調整する。

一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次 「選択科」

院内のあらゆる科から選ぶことができる。



小児科コース

将来小児科医になることを希望する者のためのコース
2年間を通じて大学病院で研修

(地域医療研修期間を除く)

定員：2名

厚生労働省及び県の定めにより、
今後定員が変更になる可能性があります。

ローテーション例

1 年次 本学附属病院

小児科	内科1	内科2	内科3	救 急	精神科	外科	産婦人科
4週	8週	8週	8週	12週	4週	4週	4週

2 年次 本学附属病院

地域医療	選択科	小 児 科
4週	4週	44週

※上に図示したローテーション例はあくまで一例であり、1 年次、2 年次各々の年度における各科の研修順序は、入れ替えることが可能である。ただし本コースの性質上、1 年次研修は小児科から開始するものとする。

コースの内容

内 科

- ◆消・血・免内、循・腎内、呼・感内、内分・糖内、神内、腫内のうち原則として4週ずつ合計24週以上選択（各診療科上限8週まで）。
- ◇消化器内科・血液内科・免疫内科（消・血・免内）
- ◇循環器内科・腎臓内科（循・腎内）
- ◇呼吸器内科・感染症内科（呼・感内）
- ◇内分泌内科・糖尿病代謝内科（内分・糖内）
- ◇脳神経内科（神内）
- ◇腫瘍内科（腫内）

救 急

原則として高度救命救急センターに所属して研修を行う。ただし全身管理や気道管理の習得を目的として、救急研修の一部を集中治療部、手術部で行うことがある。

外 科

- ◆次のいずれかを選択する。
- ◇呼吸器外科・心臓血管外科（呼・心外）
- ◇消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科（消・乳・甲外）（小児外科（小外）を含む）

地域医療 一般外来

研修協力病院の指定する研修協力施設の中から選択して研修を行う。ただし当該施設が在宅医療を行っていない場合は、選択科の研修期間中に在宅医療の経験ができるよう総合調整する。

一般外来研修は、原則として地域医療研修期間中に行う。

2年次 「選択科」

院内のあらゆる科から選ぶことができる。

必修分野のアウトカムについて

消化器内科・血液内科・免疫内科

アウトカム

消化器内科

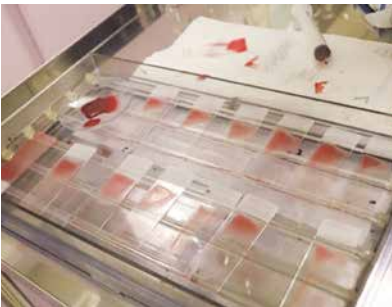
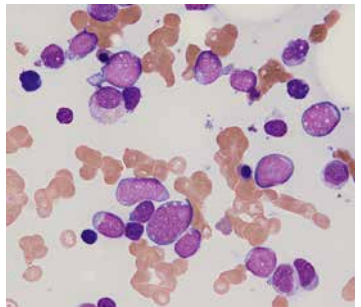
消化器内視鏡診療にグループ診療の一員として参加し、検査時の介助、モデルを用いたシミュレーションを行い、最終的に実際に鎮静下での抜去時の観察及び診断を行うことができるようになる。さらにAI診断補助による内視鏡診断の学習及び、内視鏡治療モデルや豚の胃を用いた内視鏡治療トレーニングに参加する。



アウトカム

血液内科

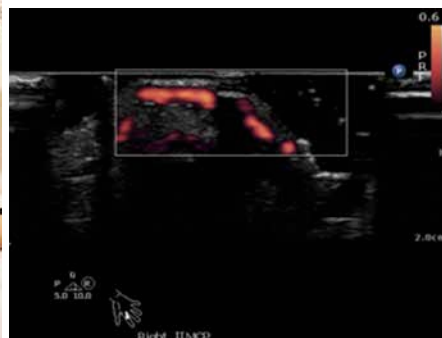
代表的な症状及び身体所見(貧血、リンパ節腫脹、紫斑)から血液疾患を疑い、必要な採血検査を行いその結果を解釈できる。実際に骨髓検査を施行し検査結果から鑑別診断をできるようになる。



アウトカム

免疫内科

日常診療で最も多く遭遇する関節痛の患者様の診療を経験、病歴、身体所見、血液検査、X線検査に加えて関節エコー検査から関節炎の鑑別診断ができるようになる。



循環器内科・腎臓内科

アウトカム

循環器内科(虚血)

循環器疾患の病態理解のため、基本的な身体診察や心電図、血液検査の所見を習得する。緊急時の初動対応を含め、適切な治療が行えるようになることを目指す。また、弁膜症や心不全の病態を把握し、基本的な薬物療法を実施できる能力を身につける。



アウトカム

循環器内科(不整脈)

病歴の聴取や診察法、検査・手技に関する基本を習得し、徐脈や頻脈の初期対応を適切に行えるようになる。心臓電気生理学的検査、カテーテルアブレーション、デバイス治療の適応について理解を深め、基本的な手術手技の助手としての技能を習得する。



アウトカム

腎臓内科

尿・血液検査の所見を元に腎疾患の初期対応を迅速に行い、顕微鏡を用いた組織所見からの鑑別診断能力を養う。腎不全に対する透析治療や腎移植の適応に関する知識を深め、適切な対応を行えるようにする。



呼吸器内科・感染症科

1

病態の正確な把握ができるよう、全身にわたる身体診察を自ら系統的に実施し、カルテに記載することができる。

2

基本的治療法の適応を決定し、適切に実施することができる。

3

基本的手技の適応を理解し、実施することができる。また、前処置や施行前後の患者管理ができる。

内分泌内科・糖尿病代謝内科

- 1 糖尿病（DKA、HHS、低血糖）、内分泌（甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼなど）緊急症に対して適切に診断して治療ができる。
- 2 臨床症状、負荷検査を含む検査データ、画像所見から病態を考え診断を進めることができる。
- 3 インスリン治療の基本的な考え方を学び、実践することができる。

脳神経内科

- 1 神経診断学に基づいた病歴をとることができる。
- 2 系統立てて神経学的診察を行い、臨床診断をつけることができる。
- 3 検査を行い、治療方針を決定することができる。

腫瘍内科

- 1 代表的な悪性腫瘍の標準薬物療法を理解し、適切な支持療法と合わせて計画実施することができる。
- 2 がんゲノム検査の実践を通して、適切な診断や新たな治療につなげることができる。
- 3 進行がんの患者様が抱くさまざまな苦痛に対する包括的ケアと合併症に対する全身管理を行うことができる。

神経科精神科

- 1 患者様の気持ちに寄り添い、患者様の苦痛について支持的な対応が行えるようになる。
- 2 様々な精神症状について理解、評価できるようになる。
- 3 精神症状、精神疾患について対応できるようになる。

小児科

- 1 病児および家族の病気に対する心理状態や家族背景を理解し、良好なコミュニケーションをとることができる。
- 2 子どもの年齢や成長に伴う変化を考慮した適切な診察を行うことができる。
- 3 小児や小児疾患の特徴や病態を深く理解し、基本的な治療方針を決定することができる。



呼吸器外科・心臓血管外科

- 1 呼吸器・心大血管疾患の術前画像検査を正確に評価・診断することができる。
- 2 胸腔内臓器および脈管の解剖を正確に理解し、基本的な手術手技の助手をすることができる。
- 3 基本的な周術期の呼吸循環管理を習得することができる。

消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科

- 1 消化器癌、乳癌、および甲状腺癌の手術適応を適切に判断することができる。
- 2 消化器疾患、乳腺疾患および甲状腺疾患に対する適切な手術計画を立案することができる。
- 3 消化器疾患、乳腺疾患および甲状腺疾患の手術における周術期管理を、独自に適切に遂行することができる。

小児外科

- 1 小児の外科的疾患の診断・治療に必要な問診及び身体的診察を行うことができる。
- 2 小児の外科的疾患の診断計画を立てることができる。
- 3 小児の外科的疾患の臨床検査法の選択と結果の解釈ができる。

救急科

- 1 バイタルサインの把握とABCDの異常に適切に対応することができる。
- 2 心肺蘇生のチームリーダーとして蘇生を行うことができる。
- 3 CBRNEを含む災害医療に主体的に参加することができる。

麻酔科・集中治療科

- 1 各種器具を用い気道の評価と確保の手段を学ぶことができる。
- 2 集中治療を要する症例の病態の把握・管理法について学ぶことができる。
- 3 ペインクリニック・緩和医療に関する知識を習得し、具体的に行われている内容を共有する。

産科婦人科

- 1 主要な婦人科悪性腫瘍（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌）の進行期を把握し、治療計画について理解することができる。
- 2 妊娠に伴う生理学的変化（循環器系、内分泌系等）、分娩の進行、メンタル面を含めた産褥変化など妊娠産褥に必要な知識を習得し、適切な医療を提供できる。
- 3 思春期から更年期において頻度が高い女性特有の疾患を理解し、対応することができる。

研修医オリエンテーション

さぁドクターとしていよいよ臨床の現場へ！

でもその前に体験型オリエンテーションで、しっかりウォーミングアップ
実践重視！ 頭と体をウォーミングアップ

※スケジュールは各年度によって変更します。

1 日 目

- 9:30 (場所：中会議室)
● 集合
- 9:35 ● 着替え
(研修医室の鍵とロッカーの鍵を配布)
(研修歯科医は歯科口腔外科へ)
歯科の引率は歯科受付
※医科研修医も研修歯科医も中会議室に再集合
- 10:20 ● 各種手続き
1. 保険医申請
2. 麻薬施用者申請
3. オンラインシステム操作者カード、
名札、写真撮影
4. 給与関係手続き
5. 社会保険等関係手続
6. 二次文献データベースの説明
7. コンプライアンス教育
8. ローテート (医科のみ)
9. その他
担当：臨床教育・国際担当
- 12:00 ● 休憩
- 13:30 (場所：輸血部)
● 実習「輸血前検査」(120分)
担当：輸血部 玉井佳子 教授
- 15:30 ● 休憩
- 15:50 (場所：中会議室)
● 講義「針刺等の事故対策と対応について」
(30分)
担当：消化器血液免疫内科 飯野 勢 講師
- 16:20 ● 諸連絡
(研修歯科医は歯科口腔外科教室へ)
- 17:00 ● 終了予定

2 日 目 (午前)

- 8:50 (場所：中会議室)
● 集合
- 9:00 ● 病院長挨拶及び辞令交付
担当：袴田病院長
- 9:10 ● センター長挨拶
担当：櫻庭センター長
- 9:20 ● 講義「公益通報制度について、
不審電話への対応について」(30分)
担当：総務課長補佐
- 9:50 ● 休憩
- 10:00 ● 講義「服務規律等について」(30分)
担当：総務課職員担当
- 12:00 ● 休憩

輸血前検査



2 日 目 (午後)

- 13:30 (場所：中会議室)
● 講義「保険診療の理解のために」(60分)
担当：東北厚生局 医療課
統括指導医療官 山谷睦雄 先生
- 14:30 ● 休憩
- 14:50 ● 実習「院内感染対策」(90分)
担当：(感染制御センター)
齋藤紀先 センター長
尾崎浩美 看護師
- 16:20 ● 諸連絡
- 17:00 ● 終了予定

院内感染対策



3 日 目

- 13:30 (場所：中会議室)
● 講義「臓器移植について」(45分)
担当：青森県臓器移植コーディネーター
(岩崎講師、鈴木講師)
- 14:15 ● 休憩
- 14:20 ● 講義「リスクマネジメント」(60分)
担当：医療安全推進室
大徳和之 教授
- 15:20 ● 休憩
- 15:30 (医科のみ)
● 講義「研修評価と修了認定」(60分)
担当：副センター長
- 16:30 (医科のみ)
● 諸連絡
- 17:00 ● 終了予定

針刺等の 事故対策と 対応について



臓器移植に ついて



大人気！

研修医セミナー

研修における重要なテーマについて各科のトップクラス指導医及び多職種の専門スタッフがZOOMを併用したハイブリッドで開催し、学外の研修医も参加。毎回わかりやすくレクチャー。



1時間の
実践的レクチャー



各科研修中でも、指導医が研修医の出席を保証
(急変時・急患時を除く)



普段の臨床現場で学ぶ機会が少ない
テーマも学べて医療人としての
基礎力アップ↑↑

屋上ヘリポートに着陸するドクターヘリ

外来診療棟の上には融雪・照明装置付きのヘリポートがあり、青森県全域、ときには秋田県からも重症患者様を受け入れています。防災ヘリの着陸も可能です。



最近のテーマ

令和5年度

7月	小	児	科	「児童虐待が疑われる症例への対応」
9月	総合患者支援センター			「研修医のためのACP」
10月	麻	酔	科	「研修医のための緩和ケアセミナー」
11月	腫	瘍	内 科	「研修医のためのゲノム医療」
12月	男女共同参画推進室			「医師のためのLGBTQ+入門」

令和6年度

7月	小	児	科	「児童虐待が疑われる症例への対応」
8月	総合患者支援センター			「研修医のためのACP」
9月	麻	酔	科	「研修医のための緩和ケアセミナー」
10月	腫	瘍	内 科	「研修医のためのゲノム医療」
11月	感染制御センター			「研修医のための抗菌薬適正使用セミナー」
12月	男女共同参画推進室			「医師のためのLGBTQ+基礎」

鍛えられる！ ハイレベル CPC

(臨床病理検討会)

臨床と病理 両方の指導医による
親身の指導で、
病態把握とプレゼンテーションの力が
飛躍的にアップ！

Example あなたは何を考える？

耳下腺膿瘍治療中に出現した肺の多発性空洞

頸部リンパ節腫脹、肝の多発性腫瘍を呈した症例

腹痛で受診したRA患者様。腹部所見は上腹部の軽度の圧痛のみ。入院後ショックに！

CPCで読影力も向上！
CPC前の画像相談も

OK!



放射線診断科の先生による
画像診断解説コーナーも

大人気!

CPCを通じてわかったこんな事、あんな事 (研修医の考察から)

消化管穿孔でfree airを認めないのはどんな時か。またfree airを検出するコツは？

化学療法中の真菌感染のriskは？ その対策は？

リンパ節腫脹の鑑別診断

腸閉塞の診断と治療

急性心筋梗塞で突然ショックになったとき、何を考える？

高齢者の夜間せん妄、忘れてはいけない原因は？

どんな時に病理医に特殊染色を依頼すればよいか？

解答は
HIRODAI
で...



「街なかの赤ヒゲドクター」から
「へき地医療のスペシャリスト」まで

——たくさんの出会いがあります！

行ってみて
初めてわかる

自分の目で
確かめて
みよう

地域医療のやりがいとおもしろさ！

地域医療研修協力病院・協力施設 一覧



六ヶ所村医療センター



大間病院

プログラム A、C、D、Eについて

沢田内科医院

ファミリークリニック希望

医療法人 芳真会 梅村病院

大町内科クリニック

南部町医療センター

板柳中央病院

医療法人 ときわ会 ときわ会病院

国民健康保険 五戸総合病院

沖縄県立八重山附属 大原診療所

沖縄県立八重山附属 小浜診療所

医療法人 聖誠会 石澤内科胃腸科

下北医療センター国保大間病院

五日市内科医院

坂本アレルギー呼吸器科医院

六ヶ所村医療センター

東通地域医療センター

今村クリニック

沖縄県立八重山病院

沖縄県立八重山附属 西表西部診療所

沖縄県立八重山附属 波照間診療所

プログラム Bについて

通常2年次に研修を行う協力病院に登録されている研修協力施設で研修を行っています。施設は研修協力病院ごとに異なります。詳しくは総合臨床研修センターまでお問い合わせください。

研修医に贈る六大特典!

1

心肺蘇生法講習会の受講料補助

■ BLS、ACLS、JATEC、PALSなど、各種講習会に参加した時は受講料の補助が出ます。

(過去実績：BLS + ACLS 受講料 全額補助)

※教材代も補助が受けられる予定です。

グローバル
スタンダードな
講習会が、続々
地元開催されている



PALS (小児二次救命処置法) 講習会

2

学会出張旅費の補助

■ 学会に参加する時は、交通費と宿泊費参加費の補助が受けられます。

(過去実績：東京往復2泊3日×2回相当額)

3

エビデンスに基づく 二次文献データベース使用環境

- 二次文献データベース「今日の臨床サポート」とは、日本語で最新の臨床医学情報を検索できるシステムです。
- 本町地区キャンパスの研修医を含む教職員、医学生は「今日の臨床サポート」をご利用いただけます。
- 「今日の臨床サポート」の個人用IDを取得することで、本学附属病院以外で研修中も、ネット端末（スマートフォン・PC・タブレット等）があればご利用可能です。

4

Hiroin IDを用いたパソコン環境の充実

- Hiroin IDを用いて、各種の電子ジャーナル（Medical *Online、Nature Journals Online、Oxford Journals Current Collection等）、Microsoft office、ウイルス対策ソフトWithSecure、学内Wi-Fi、弘大クラウドが無料で使用できます。

5

臨床研修に必要な図書を補助

- 当院で研修中の研修医一人あたり月2万円程度の図書を、各研修医の希望に応じて総合臨床研修センターが購入し、その研修医に貸与しています。

6

大学院の入学料・授業料の一部を支援

- 当院で卒後臨床研修を行い、本学大学院医学研究科に進学する方に、入学料・授業料の一部、約100万円の優遇制度があります。
臨床研修修了後に原則として3年以内に本研究科に入学した方が対象となります。

研修医海外視察レポート

台湾での海外医療機関視察を終えて

臨床研修医 青木 香子



1 日目 | CHANG GUNG Memorial Hospital

自分が放射線治療科専攻であることを考慮していただき、放射線科を主軸として案内していただきました。台湾はデジタル化が進んでいる印象があったので、画像の読影レポートにAIを使用しているのか質問したところ、スクリーニング目的のものを中心に導入しているとのことでした。また、レポート作成のシステムについても、読影画面から直接患者さんの血液検査結果にアクセスすることが可能でした。アクセスがしやすいことによって、より臨床に沿ったレポート作成を期待することができます。

検査技師さんも、心臓、腹部、脳等それぞれの臓器の撮像について専属の方がいらっしゃるようでした。また、10台以上あるという病院内のCTの内、救急専用のCTも配置されており、より素早い原因検索ができるような体制が取られていました。

2 日目 | Mackay Memorial Hospital



最上階付近に、病院の歴史についての資料館が併設されていることに驚きました。

また、案内していただいたスタッフの方の言語能力が非常に高く、温かい対応もしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

医学生用の図書館も拝見しましたが、見晴らしがよく、つつい訪れたいくなるような雰囲気づくりが印象的でした。

3 日目 | Taipei Medical University Hospital

OSCE練習用の建物を案内していただきましたが、その規模感と指導力に圧倒されました。

4階建ての施設には数々の部屋が用意されており、自分たちの診察練習を後から振り返られるようにカメラも設置されています。

また、プロジェクションマッピングを利用した最新鋭の練習技術もあり、思わず感嘆してしまいました。臨床医の方が毎日指導を行っているようで、疑問に思ったことはすぐに解決できるような環境が整えられていました。



～海外視察を終えて～

痛感したことは、海外で知識を得ようとする際には語学力が必須である、ということです。翻訳器を使用する暇なく会話が流れていくので、理解するだけで精一杯でした。また、大学での教育体制の面はまだ台湾に合わないですが、OSCEに限らず、実践に即した教育を取り入れることが課題になると思います。

～先輩研修医から後輩医学生へのメッセージ～

石田 航

(令和4年度臨床研修修了)

この1年間大学病院で研修し感じたことは、医学生への指導内容が研修医にとっても勉強になるということです。学生の皆さんは、今は右も左もわからず実習をしていると思いますが、ここで学んだことはこの先絶対に生きてきます。市中病院ではここまで丁寧に勉強することはなかなかできないと思うので、そこが大学病院の良さだと思います。研修病院で悩んでいる人がいたら、2年とは言わないので、たすき掛けで1年だけでも大学病院で研修して、違う刺激を求めているのもいいのではないかなと思います。研修医が増えれば大学の研修内容もより良いものになっていくはずなので、皆さんが研修医として来てくれたら嬉しいです。

立崎 善郎

(令和5年度臨床研修修了)

大学病院で研修医として働くことの大きな特徴として、病院にいる医師の数が県内の市中病院よりも圧倒的に多いことが挙げられます。ドクターハートで全科の医師が現場に集まった時は圧巻です。各研修先でたくさんの医師の先輩に出会うことができます。研修医中であれば勉強した上でわからないことは皆さん快く熱心に教えて頂けます。たくさんのお手本を見て、自分に合うスタイルを真似するもよし、逆に様々な科のたくさんの医師に自分の手技や診察などを見てアドバイスをいただくことも今だからできることです。大学病院にしかない診療科もあります。大学病院で医師として働くには臨床以外にも教育、研究など様々な仕事があり、色々な先生の様々な働き方を研修医中にみてもいいと思います。さらに大学病院は大きな組織であり、部署も細かく分かれていて、プロフェッショナルなスタッフがたくさんいます。もちろんあなたの研修を全力でサポートしてくれる臨床研修担当の職員の皆さんも非常に頼りになります。私は研修期間中の様々な困りごとは全て相談して解決してもらっていました。ストレスのない初期研修を過ごすことができたことは臨床研修担当職員の皆さんのおかげでした。本当にありがとうございました。大学病院の初期研修、おすすめです。

石山 美咲

(令和5年度臨床研修修了)

1年目は市中病院、2年目は主に大学病院で初期研修を行いました。1年目は当該施設の研修医と同様に研修を行い、多数の同期とともに励みあって研修しました。この間、大学に加療を依頼する例も多々ありました。初期対応や診断、紹介後の経過など気になるものの市中病院では学びきれないことについては、2年目の大学での研修時に解決するよう努めました。自分の将来の専攻分野だけでなく、市中・大学双方の視点から当直や一般診療をみすえて直接指導いただくことが可能であり、これはたすき掛け研修の強みであると感じます。2年目の半ばに市中病院で2か月のER研修を行ったことも、その後の研修目標を整理するのに有用でした。クリクラの学生から素朴ながら難しい質問をもらうのも良い刺激になりました。学生時代に想像していた研修と実際は、振り返ればだいぶ異なるものでありましたが、予想した以上に充実した研修生活を送ることができました。

青木 香子

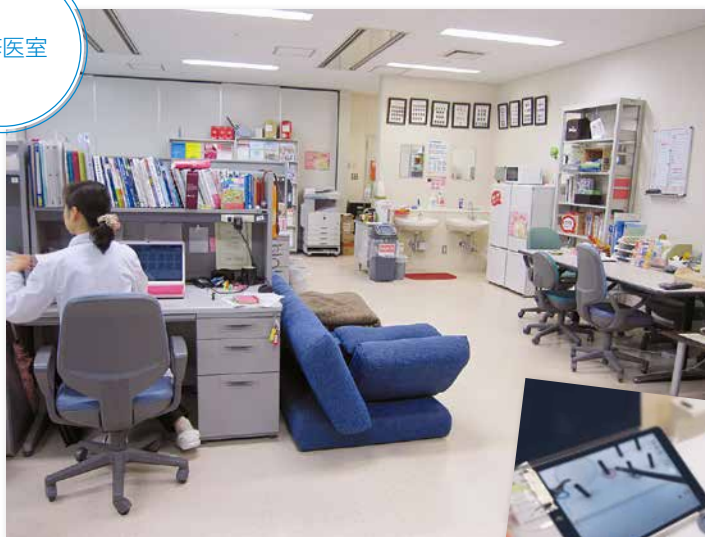
(令和6年度臨床研修修了)

本院は様々な科があり、同じ科で最大4クールも研修できることが魅力の一つです。志望科が決まっている方にとって、とても良い環境です。また、1年目は市中病院、2年目は大学病院という選択も可能で、市中病院では一般的な症例を経験し、大学病院では専門性の高い症例を診ることができます。EPOCに関してのサポートも手厚く、研修医室も設置されています。是非、本院での研修をご検討ください。

整備された

総合臨床研修センターと 研修医室が君を待っている

研修医室



総合臨床研修
センター



図書
セミナー室



仮眠室



研修医宿舎もスタンバイ!

快適な住環境で 安心して研修に専念できる



附属病院に
隣接

- ✓ 男性研修医用13室＋女性研修医用6室、計19部屋
- ✓ ワンルーム・マンション形式
- ✓ 冷暖房完備の22平方メートルの居室（一部の女性研修医用は30平方メートル）
- ✓ バス、トイレ、キッチン付き
- ✓ 部屋に備え付けの物品
(ベッド、勉強机、椅子、洋服ダンス、食器戸棚、冷蔵庫等・・・詳細は総合臨床研修センターにお尋ねください。)
- ✓ 極めて軽い負担で借りられます。(月額3,000円程度、水道・光熱費別)



キッチンも
結構広い



勉強机、
椅子は
備えつけ

研修中の育児もサポート！



本学教職員の乳幼児を対象に、
ひろだい保育園
が開設されています。

もちろん研修医も利用できます！

保育日：年末年始を除く
毎日24時間

※定員に達した場合、ご利用いただけないこともあります。予めご了承ください。

詳しくは、弘前大学男女共同参画推進室ホームページ
<https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp>
をご覧ください。

女性医師支援施設の概要

▶ 概 要

女性医師の定着や職場復帰を支援し、県全体の医師確保を図るため、青森県の支援を受けて、2015年2月25日に専用施設が完成しました。女性医師のための休憩室や更衣室等を備え、勤務環境を充実すると共に、情報交換等の場として活用しています。

▶ 施 設

構 造：鉄筋コンクリート

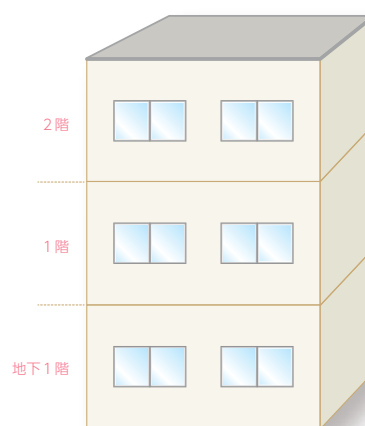
地上2階地下1階

面積 249.77㎡

地下1階：セミナーや相談会、情報交換等を行うための多目的室

1階：ロッカー室、パウダールーム

2階：シャワー室を備えた休憩室



1階 パウダールーム



2階 和室



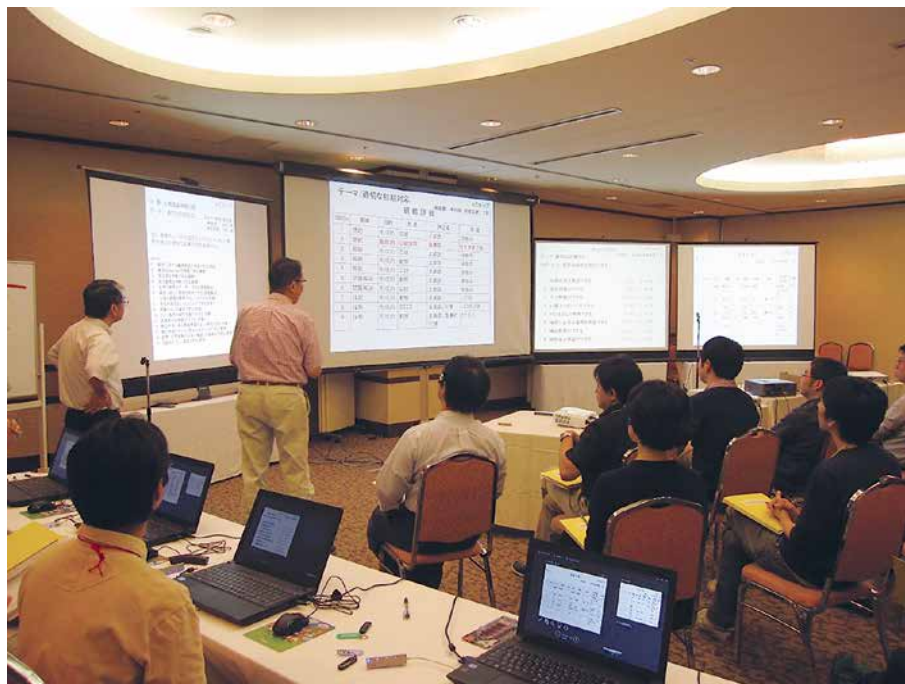
地下1階 多目的室



1階 ロッカー室

指導医も進化している！

定期的に行われる
指導医ワークショップで
指導医も研修指導の腕を磨いています。



研修医が行って良い医療行為の基準を明示

弘大では患者様の安全を守り、研修医の先生も安心して研修に専念できるよう
「弘前大学医学部附属病院における研修医の医療行為に関する基準」
を定めています。

この中では、

「研修医が単独で行って良いもの」
「指導医の立ち会いが必要なもの」を明示。

でも何と言っても、
大切なものは

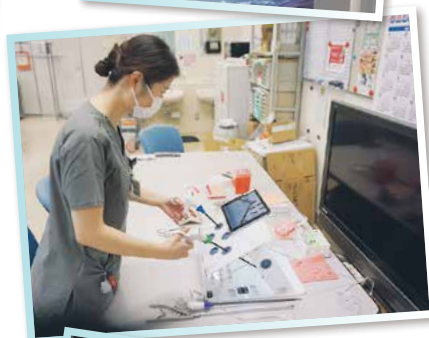
指導医との二人三脚。

これを見て、指導医と相談しながら前進しよう！

忙しくても
充実した
毎日

日々前進する研修医たちの姿

指導医からの
あたたかい
ご指導



ベスト研修医
を目指し
日々精進





〒036-8563 青森県弘前市本町53番地
弘前大学医学部附属病院総務課総務グループ臨床教育・国際担当
電話：0172-39-5178
E-mail: jm5178@hirosaki-u.ac.jp

2025年4月発行